

いつ起きてもおかしくない地震

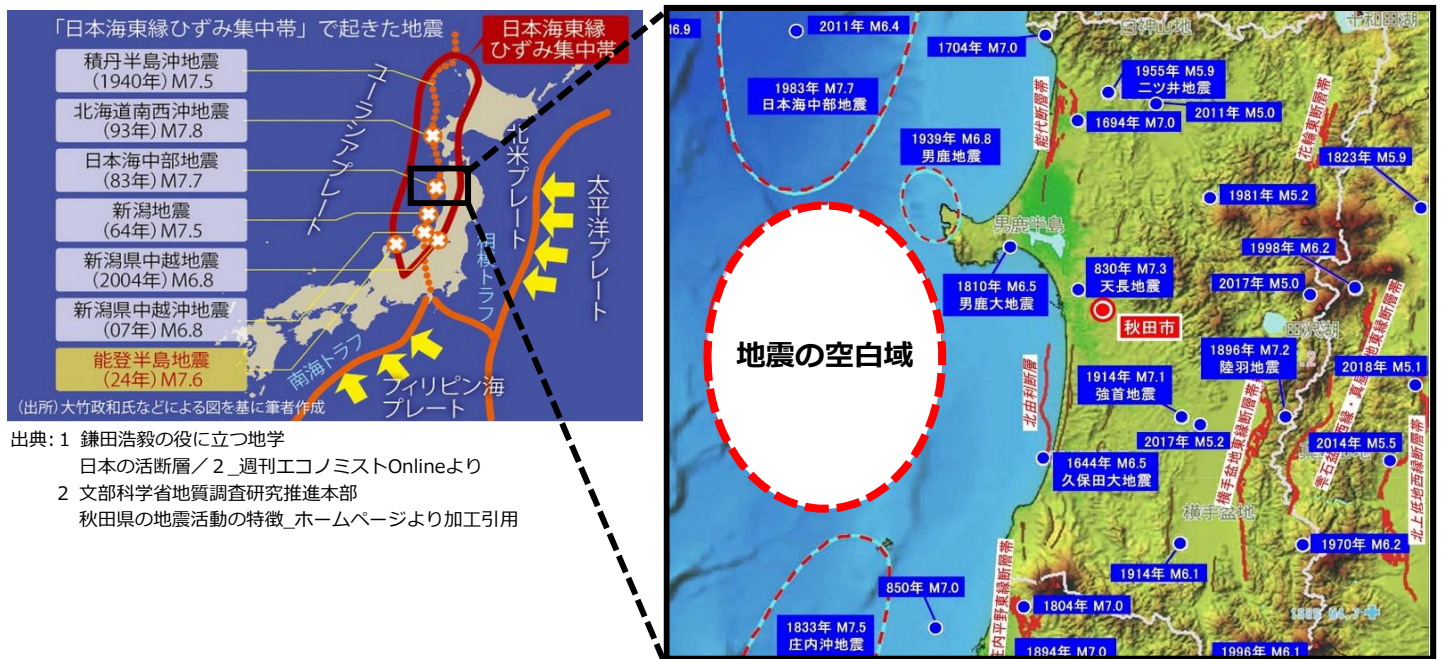
日本を囲む海には6つの海溝型地震が発生する領域があり、日本海側には「日本海東縁(とうえん)領域」が、ユーラシア大陸と樺太の間から北海道の積丹半島沖、新潟県沖へと南北に伸びて存在しています。

この領域ではマグニチュード7クラスの大きな地震が多発しており、全県で死者104名の被害をもたらした昭和58年5月の日本海中部地震もそのひとつです。

地震の空白域

本市においては日本海中部地震以来、大きな地震災害は発生していませんが、秋田県沖ではこれまで大きな地震が発生していない「地震の空白域」が指摘されており、いつ地震が起きてもおかしくありません。

地震災害から命を守るために、日頃からの備えを万全にしておきましょう。



地震への備え

地震は突発的に発生することから、巨大地震の被害を軽減するために、日頃から備えておくことが重要です。



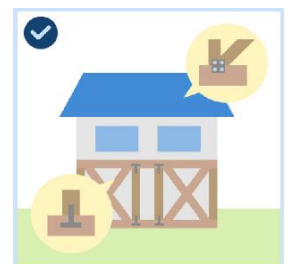
家具の固定



非常用
持ち出し袋の準備



避難場所や
避難経路の確認



建物の耐震化

出典: 気象庁「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたときの防災対応より加工引用